

# Box 利用時のネットワーク負荷対策と個人アカウント利用制限 快適なクラウド・コンテンツ管理サービスの利用とセキュリティの強化を実現

## 課題：

クラウド・コンテンツ管理サービスの Box を大規模で展開し活用する際に、既存のプロキシサーバーの負荷が増大することを避けたい。また、企業内からの個人アカウントでの利用を制限したい。

## 解決策：

A10 Thunder CFWを利用したクラウドプロキシソリューションにより、Box向けのトラフィックを制御し、既存プロキシサーバーの負荷を軽減。SSL/TLS通信の可視化ソリューションにより、社外関係者とのコラボレーションを妨げることなく、個人アカウント等でのBox利用を制限。

## メリット：

- Box の快適な利用・社外関係者との Box を通じたコラボレーション
- 個人アカウントの利用制限によるセキュリティ強化（情報漏えいなどの抑止）

Box は、法人向けに特化したセキュアなクラウド・コンテンツ管理サービスを提供しています。「社内外の関係者との安全なコラボレーションが実現できる」、「オンプレミスよりもセキュリティレベルを向上出来る」などのメリットが評価され、国内外の大手企業での導入が進んでおり、働き方改革の流れからリモートワークを促進するための基盤としての注目も高まっています。最近では、セキュリティや内部統制を目的とした全社単位での導入などの大規模展開例も増えてきていますが、Box を大規模に活用していくためには、企業のネットワーク構成も考慮する必要があります。

A10 ネットワークスのクラウドプロキシソリューションと SSL/TLS 通信可視化ソリューションにより、大規模活用時の Box の快適な利用とセキュリティの強化を実現できます。

## 課題

### Box を大規模展開する際に考慮すべきこと

法人向けクラウド・コンテンツ管理サービスである Box を大規模に全社展開する際には、ネットワークの構成についても考慮する必要があります。例えば既存の社内 LAN 内にあったファイルサーバーなどの代替として Box を導入する場合、これまで社内 LAN に閉じていた通信トラフィックが全てインターネット向けの HTTPS での通信トラフィックとなります。この時、既存でインターネットアクセス用にプロキシサーバーがある場合、全ての Box へのアクセスのセッションがプロキシサーバーを通過することになります。Box への HTTPS アクセスは 1 クライアントあたりで多くのセッションを張るため、従来のプロキシサーバーの負荷が増大し、その他のインターネットへのアクセスに支障が出る可能性があります。この負荷に対応する一つの方法はプロキシサーバーの増設になりますが、一般にこの増設には大きなコストがかかります。また、インターネット向けの通信トラフィックの増大に対応するためにクラウドサービスの専用回線を引いた場合、従来のスイッチのみで専用回線向けにトラフィック制御を行うには複雑なルーティングの設定が必要になります。クラウドサービスは日々進化するため、Box に新しいサービスが増えるごとにこのルーティングの設定が必要になります。

上記に加え、社内から Box の URL ドメインの利用を許可した場合、会社で許可されているアカウントだけでなく、個人のアカウントや社内の協力会社のアカウントでのログインも可能となり、社内のみでアクセスできる情報が漏えいするセキュリティ上の懸念となります。一方で、これを防ぐために会社指定の URL ドメイン（例えば a10networks.app.box.com）のみへのアクセスを許可した場合は、社外の Box 利用者からのファイル共有へのアクセスなども制限されてしまい、Box 導入の大きな利点の一つである「社外関係者との安全なコラボレーション」が出来なくなってしまいます。

## 快適な Box 利用の実現とセキュリティ強化

### プロキシサーバーの負荷軽減と回線分散

A10 ネットワークスの Thunder CFW シリーズを利用したクラウドプロキシソリューションにより、既存プロキシサーバーの負荷を軽減し、大規模導入時にも快適な Box 利用を実現することができます。これにより専用回線へのトラフィック制御に伴う運用負荷も軽減されます。

クラウドプロキシソリューションでは、Thunder CFW を既存プロキシサーバーの前段に配置し、クライアントからのインターネット向けの通信に含まれる URL などを識別し、Box などのクラウドサービス向けの通信を直接インターネットに転送、通常の Web アクセスを既存プロキシサーバー



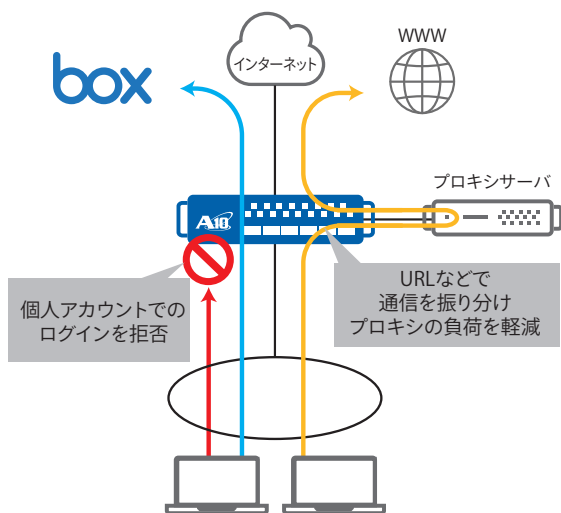
に転送することで、既存プロキシサーバーの負荷を軽減します。ネットワーク構成の大きな変更が必要なく、インターネット向けのトラフィックを通信経路上で自動識別するためクライアント側の設定も不要です。Thunderシリーズは既存のプロキシサーバーと比較してコストパフォーマンスに優れ、低コストで快適なクラウドサービス利用を実現します。

また、この機能を利用して、クラウドサービス向けの通信のみを専用回線に転送することもできます。特定のURLにマッチした通信を次のルーターに転送するだけの設定で済むため、複雑なルーティング設定は不要となり、ネットワークの運用負荷が大幅に軽減されます。

## SSL/TLS 通信可視化によるアカウント利用制限

Thunder CFW シリーズのSSL/TLS 通信可視化ソリューション (SSL インサイト) を利用することで、社外の Box 利用者とのコラボレーションを維持しつつ、許可されていないアカウントの利用を制限することができます。

アカウントとパスワードを入力してログインする際のHTTPS通信を可視化して検査することで、社内で許可されていないログインを行った場合はログインを禁止したり特定のWebサイトに転送したりすることができます。ログインのみを制限するため、特定URLへのアクセスのみを許可する場合と異なり、社外のBox利用者とのコラボレーションはこれまで通り行うことができます。特定サイトのみでSSL/TLS通信の可視化を行えば良いため、他のインターネット向け通信への影響はありません。



Thunder CFW によるネットワーク負荷軽減と個人アカウント利用制限

## 特長とメリット

Thunder CFW を利用してプロキシサーバーの負荷軽減やアカウント利用制限を行う方法のメリットは以下になります。

- 高いパフォーマンス：従来のプロキシサーバーや同価格帯の他社製品と比較し、より多くの同時セッションを処理することができます。大量のセッション処理が必要となるクラウドサービスのトラフィック制御が可能で、快適な利用環境を実現できます。SSL/TLS 通信可視化には専用ハードウェアを利用することで、業界最速の復号化/再暗号化処理を行うことができます。
- 柔軟な構成：既存のネットワーク構成やプロキシサーバー、認証プラットフォームに大きく変更を加えることなく、多様な導入形態でのソリューション導入が可能です。
- 豊富な機能を一筐体で提供：トラフィック制御・回線分散・SSL/TLS 可視化などの機能は標準搭載されており、追加コストなくすぐに利用できます。標準機能にはファイアウォール・認証プロキシ・IPsec-VPN・グローバル負荷分散の機能なども含まれます。

## 結論

A10 ネットワークスの Thunder CFW を利用することで、クラウド・コンテンツ管理サービスの Box を大規模活用する際のネットワーク負荷を軽減し、個人アカウントの利用を制限できます。これにより、社外とのコラボレーションを阻害することなくセキュリティを強化し、快適な Box 利用を実現できます。

## Box / 株式会社 Box Japan について

Box (NYSE: BOX) は、安全に人と情報とアプリケーションを連携させながら、組織の働き方を変革させるクラウド・コンテンツ・マネジメント企業です。2005年に設立され、アストラゼネカ、ゼネラル・エレクトリック、P&G、GAPをはじめとする76,000以上のグローバル企業を支援しています。Boxは、カリフォルニア州レッドウッドに本社を置き、米国、ヨーロッパ、アジアに拠点を持っています。Boxの詳細は、[https://www.box.com/ja\\_JP/](https://www.box.com/ja_JP/)にてご覧ください。株式会社Box JapanはBox Inc.の日本法人です。

## A10 Networks / A10 ネットワークス株式会社について

A10 Networks (NYSE: ATEN) はセキュアアプリケーションサービスにおけるリーディングカンパニーとして、高性能なアプリケーションネットワークングソリューション群を提供しています。お客様のデータセンターにおいて、アプリケーションとネットワークを高速化し可用性と安全性を確保しています。A10 Networksは2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本拠地を置き、世界各国の拠点からお客様をサポートしています。

A10 ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワークングソリューションをご提供することを使命としています。

詳しくはホームページをご覧ください。

URL : <http://www.a10networks.co.jp/>

Facebook : <http://www.facebook.com/A10networksjapan>

### A10 ネットワークス株式会社

〒106-0032  
東京都港区六本木三丁目2番1号  
住友不動産六本木グランドタワー33階  
TEL : 03-4520-5700  
FAX : 03-4520-5701  
jinfo@a10networks.com  
www.a10networks.co.jp

### 海外拠点

**北米 (A10 Networks 本社)**  
sales@a10networks.com

**ヨーロッパ**  
emea\_sales@a10networks.com

**南米**  
latam\_sales@a10networks.com

**中国**  
china\_sales@a10networks.com

**香港**  
HongKong@a10networks.com

**台湾**  
taiwan@a10networks.com

**韓国**  
korea@a10networks.com

**南アジア**  
SouthAsia@a10networks.com

**オーストラリア/ニュージーランド**  
anz\_sales@a10networks.com

お客様のビジネスを強化するA10のアプリケーションサービスゲートウェイ、Thunderの詳細は、A10ネットワークスのWebサイト[www.a10networks.co.jp](http://www.a10networks.co.jp)をご覧ください。A10の営業担当者にご連絡ください。

Part Number: A10-SB-Cloudproxy-BOX  
Oct2017-1

©2017 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10 Networks, A10 Networks ロゴ, ACOS, Thunder および SSL Insight は米国およびその他の各国におけるA10 Networks, Inc. の商標または登録商標です。その他の商標はそれぞれの所有者の資産です。A10 Networks は本書の誤りに関して責任を負いません。A10 Networks は、予告なく本書を変更、修正、譲渡、および改訂する権利を留保します。製品の仕様や機能は、変更する場合がございますので、ご注意ください。商標について詳しくはホームページをご覧ください。www.a10networks.com/a10-trademarks